

小牧市民病院

病院長名	谷口 健次
所在地	〒485-8520 愛知県小牧市常普請一丁目 20 番地 Tel (0568) 76-4131 Fax (0568) 76-4145 http://www.komakihp.gr.jp/
交通案内	●名鉄小牧線小牧駅から徒歩 15 分 ●名鉄小牧駅から 岩倉駅行きバス(市民病院経由または市役所経由)で 5 分 ●東名・名神高速道路小牧インターから 5 分

病院の特徴

小牧市民病院は愛知県尾張北部医療圏で急性期医療を担う基幹病院です。「救命救急センター」「がん診療連携拠点病院」「地域医療支援病院」「災害拠点病院」の指定を受け、急性期医療を担う DPC 病院群では、大学病院本院に準じた高機能の病院として、厚生労働省から「DPC 特定病院群」の適用を受けています。

令和元年にオープンし新病院で新たに導入した手術支援ロボットは泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科で活用が進み、2年連続して年間 260 件を超える実績があります。ハイブリット型手術室では対象疾患の拡大に適応しつつ、TAVI やステントグラフト治療等の実績を着実に伸ばし良好な成績を上げています。



研修の特徴

当院のプログラムは、2年間の総合診療方式で特に救急医療に重点を置いています。救急車の搬送数年間約 7,000 件と多く初期研修医がファーストタッチで経験できる症例数は豊富です。1年目に救急科、脳神経外科、整形外科、小児科、緩和ケア科を必須科として、救急医療が不安なく対処でき、ターミナル・ケアを経験することで全人的な医療とプライマリケアが早期に体得できるようにしています。また、病理・検査部門のローテーションも必須とし、不十分になりがちな検査方法の習得を学習できます。更に、1年目から選択科を設定することにより、研修早期から将来進む進路科への展望を得る機会を設けています。



メッセージ

指導医 (研修センター長 小島 英嗣)
小牧市民病院は豊富な臨床活動で知られ、オールローテーションによる長い研修教育の歴史を持っています。そして、当院から巣立った多くの先輩は、現在大学や一般病院の各臨床領域で指導的地位にいます。彼らに会う機会に、実り多かった研修医時代の話聞き、指導医として大きな誇りを感じます。多くの若くて、元気な研修医がベテラン医師にもとても良い影響を与えてくれることは身に染みて実感しています。ぜひ当院の研修に参加し、未来の日本を担う医師となって巣立って下さい。

研修医 (2年次研修医 加藤 圭)
入職して1年ほど経ち、少しずつ仕事に慣れてくると同時に、任される仕事も徐々に増え、責任を感じつつも充実した日々を過ごしています。
研修先を選ぶにあたっては、2年間の研修を通じて一人の医師として恥ずかしくないレベルの知識と経験、特に適切な救急対応を身につけられるということを意識しました。当院の救急外来を見学した際に脳梗塞や心筋梗塞、急性心不全といった重症の患者様が次々と搬送される中で、先輩研修医が適切に対応されていく姿は印象的で、ここで研修したいと思う決め手になりました。
言葉だけでは中々伝わらない面も多いと思いますので、まずは一度足を運んで雰囲気を感じてみてください。ぜひ一緒に楽しく働きましょう。

募集要項

・採用実績	2024年度 11人		・ 2025年度 11人	
・給与/月額	1年次	344,800円	2年次	360,000円
	(※手当含まず)			
・当直回数/月	6~7回			
・当直料/回	1年次 時間外勤務手当として支給	2年次 1回 10,000円+時間外勤務手当として支給		
・その他	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり 宿舎あり			
・応募連絡先	担当者	研修センター 中出 大輔		
	電話番号	(0568) 76-1440(直通)		
	Eメール	kensyu@komakihp.gr.jp		